



2019/09/10

No. 87

科学の森ニュース

The University of Tokyo Forests News

発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

Contents

- 新カリ学生実習が始まりました…1
- 4公式サポート団体が生水研で初会合…2
- 安全講習「蜂刺され0を目指そう！」…2
- 教材用に樹木サンプルを提供します…2
- 演習林公式サポート団体大紹介…3
- 四コマ漫画：学生実習オンシーズン…3
- 動植物紹介：シリブカガシ…4
- サイバーフォレストのライブカメラ…4

森林科学基礎実習、始まりました

演習林のミッションのひとつは、大学生・大学院生へ森林に関わる教育のためのフィールドを提供することです。各演習林では毎年、多数の大学実習を受け入れています。本学の森林科学系の実習で、3年生が最初に泊まりがけで訪れるのが千葉演習林です。1895年に始まった造林学実習などの120年以上の歴史を受け継ぎつつ、今年からは、森林の育苗・育林作業を体験し、調査・管理技術や植物学を学ぶ「森林科学基礎実習！」が開講されています。これら実習では千葉演習林のほかに、田無演習林や秩父演習林にも訪れ、多様な森林教育が行われています。



1925年の造林学実習。中央は本多静六教授。



斜面でのスギ植付けに奮闘（千葉）



クロマツの播種。苗木の養成はここから始まる（田無）



標高2082mの雁坂峠まで植物採集しながらの登山（秩父）

演習林公式サポート団体の交流会が 開催されました

生態水文学研究所

2019年5月18日（土）から19日（日）に、東京大学演習林公式サポート団体である千葉演習林のAbies（2005年発足）、秩父演習林のしおじの会（2004年発足）、生態水文学研究所のシデコブシの会（2007年発足）と犬山研究林利用者協議会（2011年発足）の計4団体の交流会が開かれました。集まったメンバーは、生態水文学研究所の赤津研究林内を見学後、情報交換会で互いの活動を報告しました。翌日には、犬山研究林利用者協議会の案内で林業遺産に指定された犬山の砂防工事群などを見学しました。4団体が揃うのは初めてということで、今回の交流は各地で活動する会員にとって貴重なものになりました。



赤津研究林での集合写真

ハチ対策講習会

樹芸研究所

これからハチの活動や攻撃性が活発になる季節に先がけ、2019年7月8日（月）に全職員を対象にハチ対策講習会を開催しました。当所では毎年、数件のハチ刺され災害が発生しており、そのなかには十分注意することで避けられたケースもあります。

そこで「ハチ刺され災害0を目指そう！」をスローガンに、ハチの生態と対策、刺された場合の対処法などの講義を受けました。特に林内作業でハチに刺された場合の対処方法については、実体験に基づいた情報を出し合い、最善の方法を検討しました。

また、練習用エピペン*を使ったトレーニングと防蜂服の試着を行い、最後に建物を見回り、講習で得た知見に基づき、安全に配慮しながらハチの巣を駆除しました。*アナフィラキシー補助治療剤



防蜂服を試着し動きやすさを確認

実物の樹木サンプルを教材に 使ってみませんか

田無演習林

田無演習林では、樹木の枝などの実物サンプルを、学校教育の教材用に提供しています。当演習林は都心からの交通アクセスが良いうえに、樹林地、苗畑、草地など多様な景観があるために、多種多様な動植物が存在しています。特に樹木では、この地域に自生しない、北方樹種や南方樹種も植栽されています。田無演習林維管束植物目録（演習林54巻に掲載：<http://doi.org/10.15083/00026157>）には、そのリストが掲載されており、教材を選ぶ際の参考になると思います。まずは、一度、当演習林に来ていただき、面白い素材があるかどうか見ていただければと思います。



講義で使用するポプラ葉を採取している様子

クローズアップ

演習林公式サポート団体

東京大学の演習林にはいくつかのサポート団体があります。現在、演習林の公式なサポート団体は、千葉演習林の「千葉演習林ボランティア会 Abies」（2005年発足）、秩父演習林の「東京大学秩父演習林しおじの会」（2004年発足）、生態水文学研究所の「シデコブシの会」（2007年発足）と「犬山研究林利用者協議会」（2011年発足）の4団体です。発足した経緯や活動内容は団体ごとに異なりますが、いずれもそれぞれの演習林を支援してくれています。

団体の活動は、イベント時の補助や参加者の安全確認、試験地の調査補助やメンテナンス、歩道やシカ柵の巡視、森林作業の手伝いなど多岐にわたり、演習林を様々な方面からサポートする役割を担っています。また演習林内で開催される地域住民対象のイベントでは、サポート団体自らが企画することもあり、そうした活動は、地域と演習林をつなぐ重要な役割を担っています。

ところで、ボランティアで行われているこうした活動は、活動自体が楽しくなければ長く続きません。またスキルアップも必要です。このため、例えば、会員のための自然観察会、キノコ勉強会、見学会などを定期的で開催しているところもありますし、演習林職員や学生との交流、各演習

林の利用者説明会や交流会へ出席し、意識の向上を図っているところもあります。サポート団体とその活動に興味をもたれた方は、それぞれのホームページをのぞいてみてください。

演習林のおじと 001

作・技術職員 Y



今号から演習林技術職員による4コマ漫画の連載を開始します。皆さまにより演習林のことを知ってもらえるよう続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



秩父演習林しおじの会による林道手入れ

シリブカガシ

田無演習林

ブナ科オニガシ属 学名：*Lithocarpus glaber*

近畿地方以西の暖かい地域に分布するブナ科の常緑高木で、田無演習林には3株が植栽されています。これらは、いずれも樹高15mを超える高木になっています。日本のブナ科樹木は春～初夏に花が咲くものがほとんどですが、シリブカガシは9～10月に上向きの花穂を付け、翌年の秋にドングリが熟します。秋にたくさん見学路に落ちるドングリは、手でこするとツヤツヤになるため、観察会では1～2位を争う人気者です。食用にもなるドングリで、底がへこんでいることからシリブカガシ（尻深榿）と名付けられました。



花穂とドングリ



コラム

サイバーフォレストのライブカメラ

富士癒しの森研究所 藤原章雄

インターネットによって世界中の出来事を写真付きで目撃することができるように思えます。それは、SNSの普及により、誰もが情報の発信者となり、世界中のあらゆる情報が簡単に提供されるようになったからです。ところが、人があまりいない自然環境の情報はどうでしょう？森林の樹木や動物は自らSNSに写真を投稿することはありません。「サイバーフォレスト」研究プロジェクト

では、1997年から森林内に無人で自動撮影する装置を設置し、映像・音声を記録、インターネットに公開する試みを続けています。現時点で、一時的に休止している場所も含めて7箇所設置しています。公開しているWebページとそのアドレスを写真で紹介していますので、是非実際にアクセスしてみてください。現地からのライブ音とともに、現地の最新映像と今までの全記録を楽しむことができます。この試みが広がって、従来のSNS等では情報発信があまりできていないエリア、つまり世界中の自然環境で起こっていることが、もし、いつでもインターネット上で目撃することができるようになったとしたら、人は自然環境に目を向け、関心を持ち、現実を知り、理解し、行動するようになるでしょうか？サイバーフォレストではそういった疑問に取り組む研究を行っています。



<http://cf4ee.nenv.ku-tokyo.ac.jp/drupal7/>
右上のQRコードを読み込んでアクセスできます。